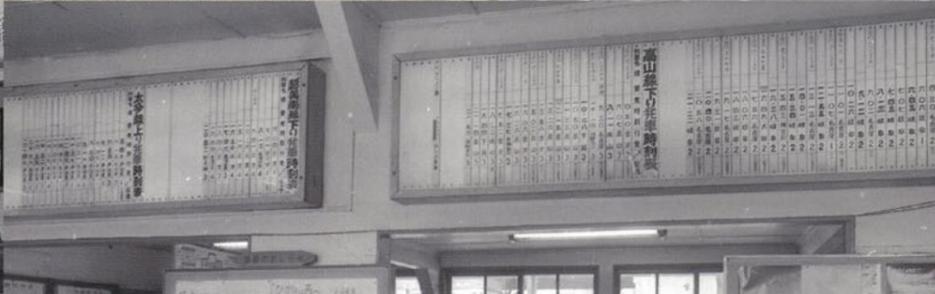


鉄道の

2021年度 美濃加茂市民ミュージアム企画展

まち展

美濃犬田駅開業から100年



みのかも文化の森
美濃加茂市民ミュージアム

鉄道のまち展 ~美濃太田駅開業から100年~

展示図録
 会期 2021年12月18日(土)~2022年3月6日(日)
 会場 美濃加茂市民ミュージアム 企画展示室 美術工芸展示室
 美濃加茂市民ミュージアム
 〒505-0004 岐阜県美濃加茂市蜂屋町上峰屋3299-1
 TEL0574-28-1110 FAX0574-28-1104
<http://www.forest.minokamo.gifu.jp/>
 デザイン 大橋徹也
 印刷 三伸印刷
 発行日 2021年12月18日

館内
展30

みのかも文化の森
美濃加茂市民ミュージアム

年表

年	西暦	月	できごと(高山線・太多線・越美南線)	他のできごと	出典など
明治28	1895		県が太田町に対し飛騨縦貫鉄道建設に関して諮問する。		『市史』p914
明治35	1902	12		中央線の多治見―中津(中津川)間 開通。	『岐阜県史』通史編・近代(中)p1087
明治43	1910		飛騨縦貫鉄道期成同盟会が飛騨三郡町村長会によって組織、内務大臣あてに意見書提出。		『市史』p914
大正5	1916	1	飛騨縦貫鉄道期成同盟会が再度意見書を提出する。		『市史』p914
大正6	1917	10	内務大臣・後藤新平(鉄道院総裁)が現地視察する。		『市史』p914
大正7	1918	2	9日、衆議院において高山線(岐阜―高山間)、飛越線(高山―富山間)の鉄道敷設法案が可決。		『市史』p915
		12	太田駅の位置計画に関して、太田町民が鉄道院に出していた「停車場位置変更」願書を取り消す。	『太田町役場史料』、『市史』p915	
大正8	1919		春、太田駅の大部分が古井町地内になることがわかる。		『市史』p915
		5	太田町が停車場の位置を太田町地内にするよう陳情する。	『太田町役場史料』、『市史』p915	
		5	21日、高山線の敷設工事が着工する。	『市史』p914	
大正9	1920	8		東濃鉄道の広見―御嵩間 開通する。	『名古屋鉄道百年史』p937
		11	高山線、岐阜―各務原間開通し、長森、那加、各務原駅開業する。		
大正10	1921	11	12日、高山線が美濃太田駅まで開通し、美濃太田駅が開業する。		『市史』p916、『写真集』p24
大正11	1922	11	26日、高山線、下麻生まで開通する。古井駅が開業する。古井駅は地元の要望によって実現。		『市史』p916、『写真集』p24
			この年、太多線建設のための測量開始される。		『多治見市史』p246
大正12	1923	10	5日、越美南線的美濃太田・美濃間が開通し、加茂野駅が開業する。		『市史』p918、『写真集』p25
大正13	1924		中山道にあった磯谷屋が美濃太田駅前に移転開業し、駅弁当の販売を開始する。		『市史』p853、『中山道太田宿に生きた人々の系譜』p176
			美濃太田の駅前道路が新設完成する。		『市史』p916、『太田新田開拓史』p168
大正14	1925		太多線が美濃太田側から工事着工。翌大正15年11月、木曾川鉄橋が完成する。		『多治見市史』p246
昭和3	1928	10	1日、太多線(多治見・美濃太田間)が開通する。		『市史』p918、『写真集』p28
昭和7	1932	4	1日、美濃太田駅西北に美濃太田機関庫が設置され、機関車の整備などが行われる。		『名古屋鉄道百年史』p954
		10	8日、名古屋鉄道(当時:名岐鉄道)犬山線から高山線への乗り入れ列車の運行開始。		『市史』p918
昭和9	1934	8	16日、越美南線的美濃太田・北濃間が開通する。		『市史』p917
		10	25日、高山線・飛越線を合わせて高山本線とし、全通する。祝賀会が高山で行われる。		『市史』p917
昭和20	1945	8	14日、美濃太田機関区を中心に機関銃掃射の空襲を受ける。犠牲者2名。		『市史』p1007
		7	高山本線、準急「のりくら」運転開始する。		『市史』p920、『高山線の60年』p193、『高山本線・太多線』p17
昭和27	1952	12	26日、太多線的美濃川合駅、越美南線の加茂野口駅がいずれも無人駅として開業する。		『市史』p918
			この年の秋、駅前道路がアスファルト舗装される。		『太田町勢要覧』p33
昭和30	1955		このころ向龍館が美濃太田駅構内で駅弁の販売をはじめめる。		聞き取り
昭和31	1956	3	26日、岐阜・下呂間で、高山線初めて気動車(ディーゼル車)が運転される。		『市史』p919
昭和32	1957	4	9日、天皇皇后両陛下、全国緑化大会出席のため美濃太田駅を通過。翌年5月27日にも通過。		『50年』p7,p8

年	西暦	月	できごと(高山線・太多線・越美南線)	他のできごと	出典など
昭和33	1958	3	高山本線、準急「ひだ」が運行開始する。		『市史』p920、『高山本線・太多線』p17
昭和35	1960	10		美濃太田駅から名古屋直行バス運行開始。	『50年』p10
昭和40	1965	8	5日、名鉄神宮前駅・高山間で準急「たかやま」運転を開始する。		『名古屋鉄道百年史』p1016
		3	17日、美濃加茂市川合町に美濃太田機関区気動車基地が設置される。		『市史』p919、『写真集』p27、『50年』p16
昭和41	1966		この年、美濃太田駅乗降客のピーク(1日平均5817人)。		『市史』p920
昭和43	1968	10	1日、特急「ひだ」運行開始。		『市史』p920、『高山本線・太多線』p17
昭和44	1969	1	8日、SLさよなら列車が運転される。高山本線すべての列車がディーゼル車に切り替わる。		『市史』p920、『写真集』p27
昭和45	1970	3	7日、C58形蒸気機関車の古井小学校への引き渡し式が行われる。		『50年』p20
昭和50	1975	8	26日、高山本線、太多線にかかる大楽(だいらく)渡線橋が完成する。		『50年』p24
昭和54	1979	9	6日、古井駅の夫婦松が枯れ、伐採される。		『50年』p29
昭和55	1980	5	7日、国鉄が高山本線の電化を運輸省に認可申請する。その後工事着工されるも中止される。		『50年』p30
昭和56	1981	5	11日、塚渡陸橋が完成する。		『50年』p31
昭和59	1984	11	3日、太田駅前広場完成し、一般車駐車場、タクシー乗り場が設置される。		『50年』p36
昭和60	1985	6	5日、第一山之上街道踏切が無となり高山本線の手動踏切が無くなる。		『50年』p35
		8	28日、長良川鉄道株式会社が設立される。		『50年』p36
昭和61	1986	12	11日、国鉄越美南線が廃止され、長良川鉄道が営業開始する。		『50年』p36
		4	1日、美濃太田駅西に自転車専用駐車場が完成する。		『50年』p37
昭和62	1987	4		4月1日、国鉄分割民営化に伴い、JR東海が発足する。	
		9		シティホテル美濃加茂完成する。	『50年』p36,38
平成元	1989	2	18日、高山本線、特急「ワイドビューひだ」が登場する。		『高山線の60年』p195、『高山本線・太多線』p18
平成2	1990	3	高山本線、岐阜―美濃太田間の普通列車でワンマン運転を開始する。		『高山本線・太多線』p18
平成3	1991	11	10日、美濃太田駅70周年記念式典とイベントが開催される。		『50年』p41
平成6	1994	8		20日、彫刻シンポジウム'94美濃太田駅前広場に彫刻設置。	『50年』p44
平成10	1998	3	28日、美濃太田駅が改築され橋上駅舎となる。自由通路が開通する。		『50年』p48
平成14	2002	3	28日、美濃太田駅北口供用開始される。		『50年』p52
平成15	2003	10	1日、それまで通過列車があった特急「ひだ」の全列車が美濃太田駅に停車することになる。		
平成19	2007	3	17日、高山本線の岐阜―坂祝間の貨物列車運転終了。4月1日、岐阜―高山間の貨物営業を廃止。		
平成30	2018		古井駅、旧駅舎が取り壊しされ、新駅舎となる。		
令和3	2021		美濃太田駅開業100年を迎える。		

*出典 『市史』・『美濃加茂市史・通史編』(美濃加茂市、1980年)、『写真集』・『写真集美濃加茂』(写真集美濃加茂編集委員会、1988年)、『50年』・『写真で見る美濃加茂市五〇年』(美濃加茂市民ミュージアム、2004年)、『高山本線・太多線』・『歴史でめぐる鉄道全路線 国鉄・JR』No.22(朝日新聞出版、2009年)、『名古屋鉄道百年史』(名古屋鉄道株式会社、1994年)、『高山線の60年』(道下淳、1994年)、『太田新田開拓史』(高島博、1977年)、『中山道太田宿に生きた人々の系譜』(高島博、1984年)、『太田町勢要覧』(太田町、1953年)